

「分析化学」の論文掲載料、刊行方法ならびに 投稿審査システム変更のお知らせ

日本分析化学会の和文論文誌「分析化学」は1952年に創刊され、1956年の第5巻からは原則として毎月1号を刊行し、今日に至っております。近年、英語による科学技術論文の発表が一般的になるのとともに、和文論文誌を休刊または廃刊とする学会が増えておりますが、本学会では和文論文誌の重要性に鑑み、継続して「分析化学」を刊行していく方針であります。

そこで、今後も「分析化学」のレベルを維持し続けるとともに、より投稿しやすい環境を整備することを目的として、2020年1月より刊行方法ならびに論文投稿審査システムを変更するとともに論文作成支援制度を発足させることにいたしました。また4月以降に投稿していただいた論文については、論文別刷代金に代わって掲載料をお支払いいただくことにいたしました。詳細は下記のとおりです。

(1) 刊行回数を以下のように年8回とします。

1・2 合併号 (1月発行)

3号 (3月発行) : 研究懇談会特集号

4・5 合併号 (4月発行)

6号 (6月発行) : 編集委員会特集号

7・8 合併号 (7月発行)

9号 (9月発行) : 研究懇談会特集号

10・11 合併号 (10月発行)

12号 (12月発行) : 分析化学討論会特集号

(2) 投稿ならびに審査を、すべてWebを通して行うシステムにします。

(3) 論文作成に不慣れな方をサポートし、論文執筆から投稿に至るまで支援する「論文作成支援制度」をスタートします。

(4) 論文別刷代金にかわり、論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただくことにします。なお、論文の別刷を希望される場合は別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P : 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

分析化学会会員の皆様には、新しく生まれ変わる「分析化学」への変わらぬご支援を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

[日本分析化学会会長 内山一美, 「分析化学」編集委員長 渋川雅美]